

人類働態学会 20期 第7回理事会

日時：2010年1月23日（土） 10:30～12:00

場所：大妻女子大学「生活科学資料館」

出席：岡田明 片岡洵子 岸田孝弥 小木和孝 酒井一博 竹内由利子 中田英雄 橋本修左
堀野定雄 平野和彦 真家和生 松田文子 松村秋芳 水野基樹

配布資料： 資料1 20期第7回理事会次第

資料2 次世代WG答申案

会員動向

<入会>

亀川真都子、土井俊央、小川祐紀

<退会>

熊倉千代子、首藤信之

●議事次第

1. 40周年記念事業・夏季研究会・45回大会

- ・6/11（金） 夏季研究会→夏季研究会の夕食会

夏季研究会：11:00～説明、13:00～職場巡視の予定。対象職場を三恵工業（三重県鈴鹿市）、折りたたみ椅子の会社を見学の予定（限定30名）。交通が不便なため、移動手段は要検討。

- ・6/12（土） 理事会→シンポジウム・ポスター発表→懇親会

シンポジウム：IEA会長を招聘

英文ポスター発表：主に会員に対して、10題程度。特にテーマは問わず、ポスター英文の添削サービス実施予定。会場、懇親会等の会場については、今後検討する。

- ・6/13（日） 45回大会のメインの日

- ・大会期間中に理事会をいつ開催するかが課題。2/26（火）実行委員会開催予定。

2. 学会の次世代を担う人材育成と学会運営に関するワーキング

- ・水野（基）ワーキンググループリーダーより報告

・答申は理事会がどう受け止め、戦略をどうつくるかが課題。片岡任期中に、答申に基づいた行動計画を作成する。

・研究委員会の設置については、担当理事の下に20代、30代を貼りつけOJTで育て、若手を幹事として、理事会に出席してもらい、取り込んでいく。

・課題を整理し、西日本の状況を踏まえて再度修正し、HPにアップすることや大会でのセッションなどを検討

●報告

2011年全国大会

- ・大学単位で考えるのではなく、地域で仕切るような実行委員会組織を作る。
- ・酒井理事が、宇土博さん（広島）に相談する。

JHE

- ・VOL38, No. 2 は、2010 年 1 月末予定。
- ・JST（アーカイブ、J-STAGE）との連携は順調に進行し、著作権に関する断りを HP や雑誌に掲載して進めている。

会報

- ・11 月中旬に会報 91 号（2009 年度 2 号目）を発行した。

広報

- ・各大会の日程を上げてもらい、随時アップする。

財務

- ・会費未納者に対して、働態研究の方法の配布時に会費督促を入れる予定。
- ・学会関連の立て替えがある場合は、次回理事会までに財務（竹内理事）まで申告する。

東日本地方会

- ・共生シンポと東日本地方会で、のべ 100 名くらいが参加。
- ・地方会は武蔵野大学が 3 回連続を担当しており、有明への移転が決まっているため、交代したい。

西日本地方会

- ・日本人間工学会九州支部大会と共催し、盛況であった。

研究推進

- ・共生シンポは来年も東日本地方会に合わせて開催する予定。テーマとして、ピクトグラム (Pictogram) を検討中。

国際交流

- ・IEA 新会長からのニューズレターを転送する。IEA 理事会の担当を次々回から、完全に城理事に移行する予定。次回の IEA 理事会（ブラジル）は堀野理事も同行。
- ・インドネシアのロードマップの会合が 8/3, 4, 5 にあり、幹事を 2, 3 名おきたい。

働態研究の方法

- ・年度内発刊を目指す。

次回の開催日程：2010 年 3 月 5 日 18：00～